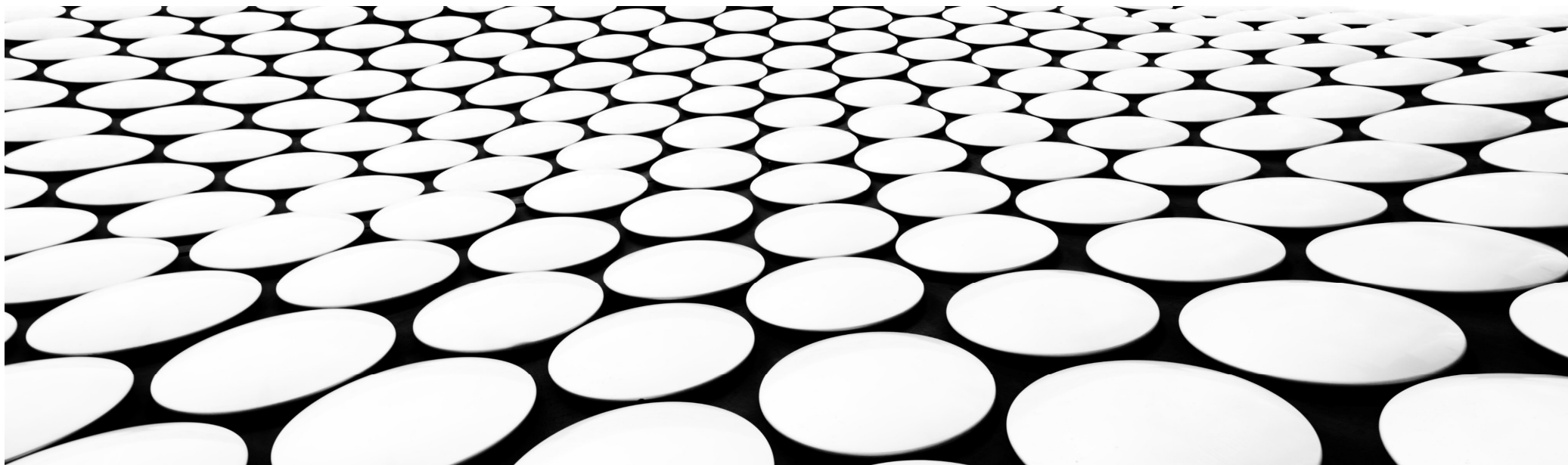

ラズパイ 日本語入力の設定

SIT DOLOR AMET



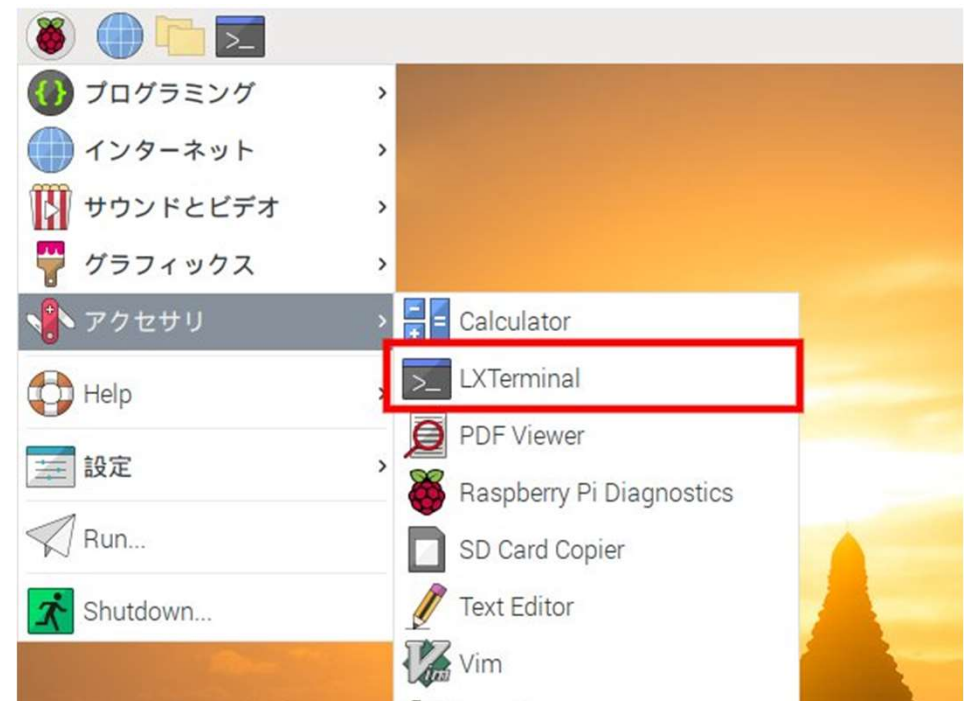
IBUS、MOZCについて

- ラズパイには、最初から日本語入力用のアプリはインストールされていません。
- iBus、Mozcというアプリをインストールして日本語入力を可能にします。
- iBusは様々な言語の入力メソッドを提供し、Mozcは日本語入力エンジンの一つです。
- この2つを組み合わせることで日本語の入力が可能になります。

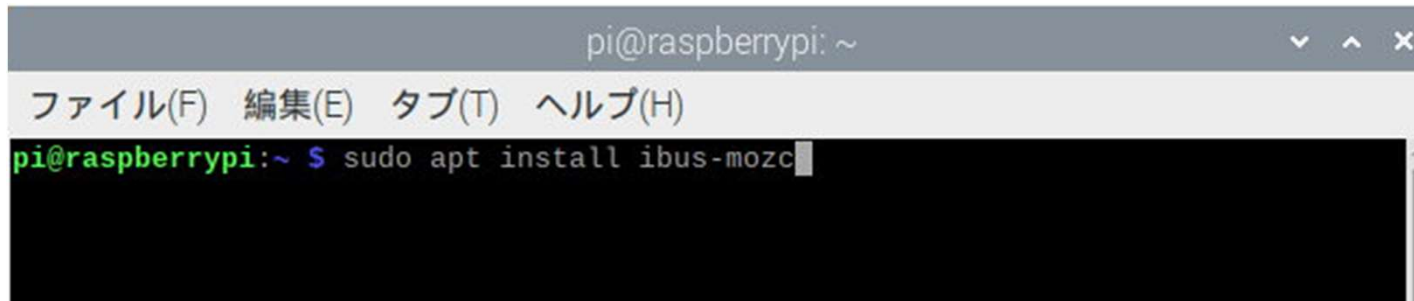
IBUS、MOZCのインストール

- ラズパイメニューから

「アクセサリ -> LX Terminal」をクリックしてターミナルを開きます。



- ターミナルが開いたら以下のコマンドを1つずつ入力してEnterキーを押すことで実行します。インターネット上からiBusおよびMozcをダウンロードしてインストールしてくれます。
- `sudo apt update`
- `sudo apt install ibus-mozc`



```
pi@raspberrypi: ~
ファイル(F) 編集(E) タブ(T) ヘルプ(H)
pi@raspberrypi:~ $ sudo apt install ibus-mozc
```

```
pi@raspberrypi: ~
ファイル(F) 編集(E) タブ(T) ヘルプ(H)
pi@raspberrypi:~ $ sudo apt install ibus-mozc
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
以下のパッケージが自動でインストールされましたが、もう必要とされていません:
  rpi-eeeprom-images
これを削除するには 'sudo apt autoremove' を利用してください。
以下の追加パッケージがインストールされます:
  ibus
提案パッケージ:
  ibus-doc
以下のパッケージが新たにインストールされます:
  ibus ibus-mozc
アップグレード: 0 個、新規インストール: 2 個、削除: 0 個、保留: 0 個。
5,296 kB のアーカイブを取得する必要があります。
この操作後に追加で 46.5 MB のディスク容量が消費されます。
続行しますか? [Y/n]
```

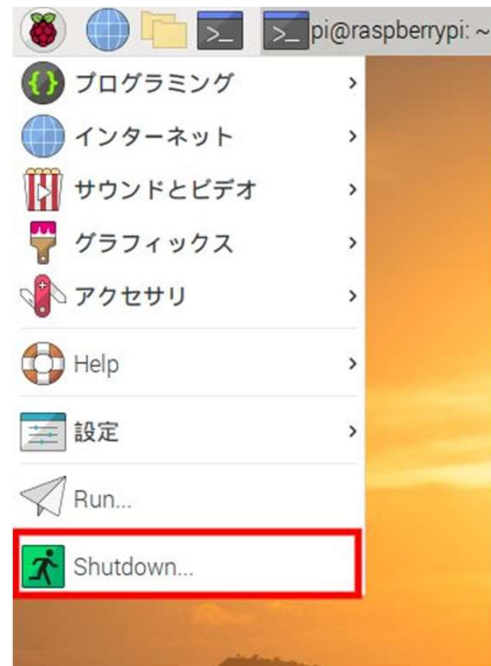
途中で続行しますか？と聞かれたら「 y 」と入力してEnterを押して続行します。

以下のようにエラー無く完了すればインストール終了です。

```
pi@raspberrypi: ~  
ファイル(F) 編集(E) タブ(T) ヘルプ(H)  
取得:1 http://ftp.tsukuba.wide.ad.jp/Linux/raspbian/raspbian buster/main armhf i  
bus armhf 1.5.19-4+deb10u1 [5,124 kB]  
取得:2 http://ftp.tsukuba.wide.ad.jp/Linux/raspbian/raspbian buster/main armhf i  
bus-mozc armhf 2.23.2815.102+dfsg-4+b1 [172 kB]  
5,296 kB を 4秒 で取得しました (1,508 kB/s)  
以前に未選択のパッケージ ibus を選択しています。  
(データベースを読み込んでいます ... 現在 105687 個のファイルとディレクトリがイン  
ストールされています。)  
.../ibus_1.5.19-4+deb10u1_armhf.deb を展開する準備をしています ...  
ibus (1.5.19-4+deb10u1) を展開しています ...  
以前に未選択のパッケージ ibus-mozc を選択しています。  
.../ibus-mozc_2.23.2815.102+dfsg-4+b1_armhf.deb を展開する準備をしています ...  
ibus-mozc (2.23.2815.102+dfsg-4+b1) を展開しています ...  
ibus (1.5.19-4+deb10u1) を設定しています ...  
desktop-file-utils (0.23-4) のトリガを処理しています ...  
mime-support (3.62) のトリガを処理しています ...  
hicolor-icon-theme (0.17-2) のトリガを処理しています ...  
gnome-menus (3.31.4-3) のトリガを処理しています ...  
libglib2.0-0:armhf (2.58.3-2+deb10u2) のトリガを処理しています ...  
man-db (2.8.5-2) のトリガを処理しています ...  
ibus-mozc (2.23.2815.102+dfsg-4+b1) を設定しています ...  
pi@raspberrypi:~$
```

再起動

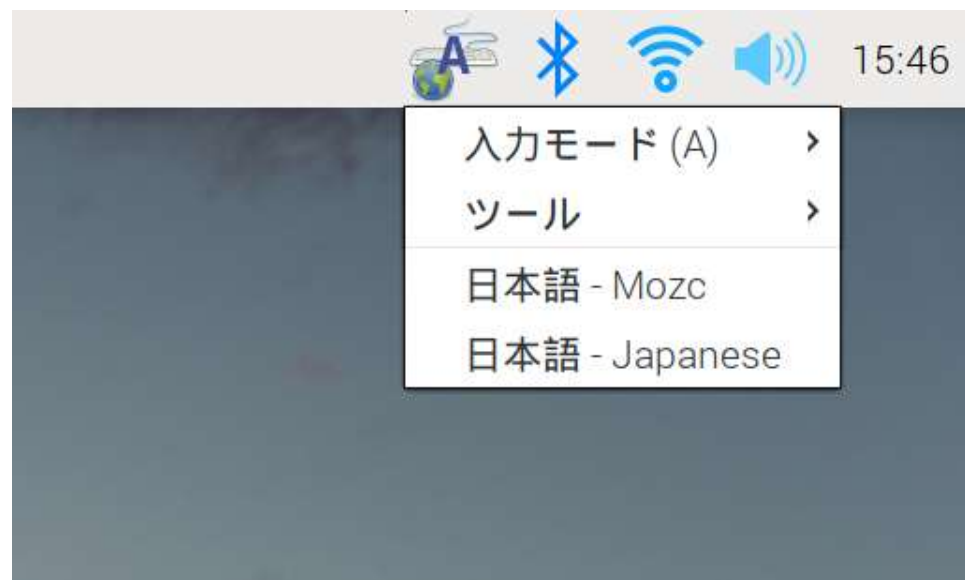
インストールが終わったら、左上メニューから「Shutdown」をクリックし、ダイアログボックスから「Reboot」をクリックして再起動しておきます。



日本語入力を試す

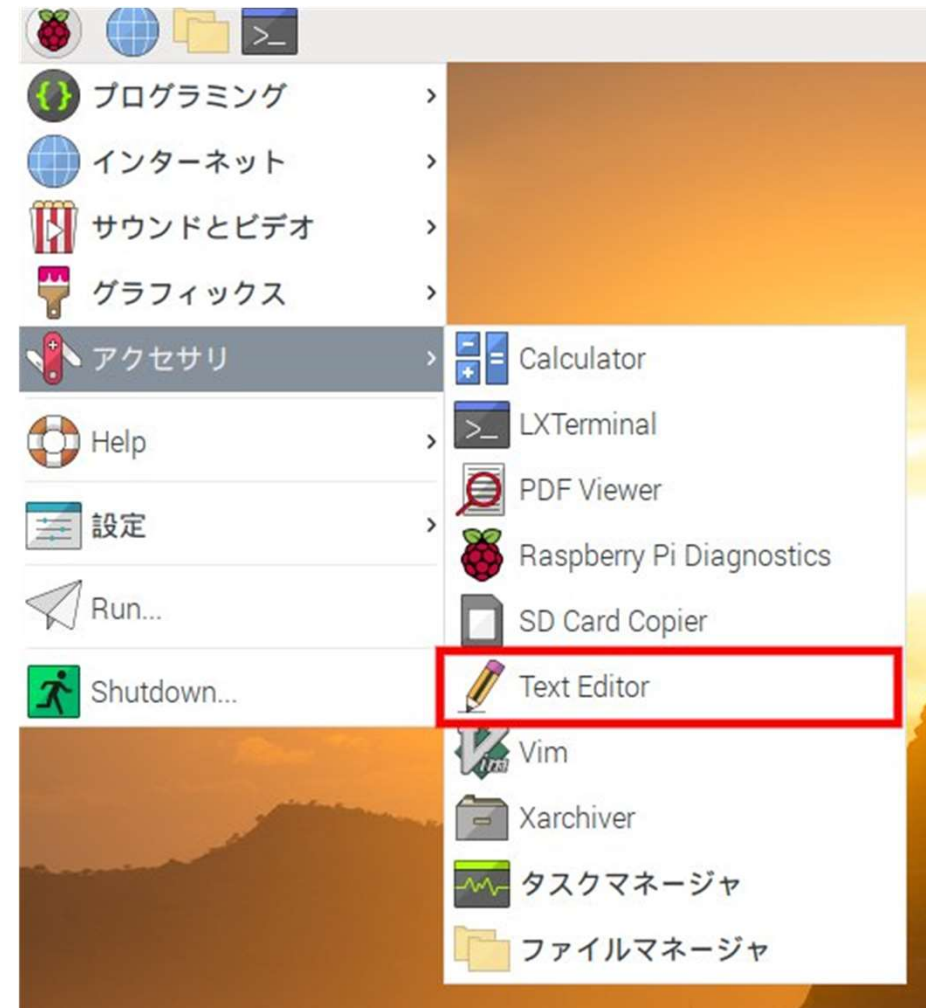
再起動すると自動的にiBusが起動します。画面右上の「A」のアイコンをクリックして、以下のようなメニューが表示されればインストールOKです。

アイコンをクリックして出るメニューから「日本語 - Mozc」をクリックしてMozcに切り替えます



エディタで日本語入力を試みます。

ラズパイメニューから「アクセサリ -> Text Editor」をクリックして
テキストエディターを起動します。



- デフォルトでは右上のアイコンが「A」で、英字入力モードになっています。
- 「半角/全角」キーを押すことで、右上のアイコンが「あ」となり、日本語入りに切り替わります。
- スペースキーで漢字変換も可能です。Windowsと同じ操作です。

